

資料編 指導計画

〈指導計画(全4時間)〉

過程	主な学習活動	形態 時間	学習への支援	評価規準		
				国語への関心・意欲・態度	書くこと	言語についての知識・理解
見 通 し 1	<p>○ワークシート①を使った学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章表現力向上についての認識を確立する。 文章表現する上で効果的な表現をするための様々な方法があることを知る。 効果的な表現が施された文と施されていない文とを比較、検討し、効果的な表現方法を探る視点をもつ。 <p>◎ワークシート②(表現効果カード例)を使った学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現効果カードの作り方を学ぶ。 	全 個	<p>学習への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの各自の表現学習を振り返り、自己の問題としてとらえられるようにする。 効果的な表現方法を身近なものと感じることができるよう、できるだけ身近な例を示す。 効果的な表現方法を探る視点が養われるよう、効果的な表現が施された文と施されていない文とを比較、検討したり、話し合ったりする活動を取り入れる。 	<p>国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇文章表現力を向上させるために、効果的な表現方法とはどのようなものかを理解しようとしている。 (十分満足とする状況・態度) <ul style="list-style-type: none"> 様々な表現方法がもたらす効果について具体的に分析し、考えている。 (努力を要する状況)への方策 <ul style="list-style-type: none"> 効果的な表現方法の役割や条件が理解できるよう、日常生活における話し言葉などの例も示す。 	<p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇効果的な表現が施された文と施されていない文とを互いに書き換えることができる。 (十分満足とする状況) <ul style="list-style-type: none"> 表現効果の条件を理解した上で効果的な表現が施された文と施されていない文とを互いに書き換えることができる。 (努力を要する状況)への方策 <ul style="list-style-type: none"> 適当な表現が考えられない生徒に対し、例文の表現意図を理解できるよう助言をする。 	<p>言語についての知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇文章表現力向上の条件を理解している。 ◇効果的な表現方法とその効果について理解している。 (十分満足とする状況) <ul style="list-style-type: none"> 自己の体験と照らし合わせながら文章表現力向上の条件を理解している。 効果的な表現方法を分類、整理して理解している。 (努力を要する状況)への方策 <ul style="list-style-type: none"> 効果的な表現方法を理解できるように、ワークシート以外の例も示しながら助言をする。
		全 個	<p>学習への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現効果カード例は内容のすべてを例示するのではなく、生徒が書き込みながら作成方法を学べるように工夫する。 	<p>国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇表現効果カードの役割を理解し、ワークシート②の中の表現効果カード例を完成しようとしている。 (十分満足とする状況・態度) <ul style="list-style-type: none"> ワークシート②に書かれた例文と表現効果カード例とを比較、検討し、現代の表現における様々な活用の仕方を吟味している。 (努力を要する状況)への方策 <ul style="list-style-type: none"> 古典の表現を現代文による用法に置き換えて示すことで、現代文と古典は異なるという意識を取り除く。 	<p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇効果的な表現方法を適切な言葉を使って公式として表現している。 (十分満足とする状況) <ul style="list-style-type: none"> 単に分かりやすいというだけでなく、読み手に印象付けるように公式として表現している。 (努力を要する状況)への方策 <ul style="list-style-type: none"> 公式として表現したものが、他者に理解できるかどうか、適宜生徒同士で評価し合うよう助言する。 	<p>言語についての知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇文の構成や表現方法について理解している。 (十分満足とする状況) <ul style="list-style-type: none"> 現代文と古典との相違や共通点を認識した上で、文の構成や表現方法について理解している。 (努力を要する状況)への方策 <ul style="list-style-type: none"> 例文とは正反対の悪文の具体例を幾つか挙げ、生徒自身が表現する上での問題点を指摘する。
見 通 し	<p>◎題材を読み、表現効果カードを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各題材を読み、効果的な表現方法を探る。 それぞれの表現がもたらす効果について考える。 自己の文章表現に活用するために公式にする。 	課 グ	<p>学習への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な表現方法に気付くよう、原文と口語訳の比較をしたり、原文を音読したりする活動を取り入れる。 効果的な表現方法を探るための視点をいくつか例示する。(構成・リズム・修辞・引用……) 古典における表現方法が現代の表現にも生きている例を示す。(押韻・本歌取り……) 	<p>国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇各題材における筆者の表現意図と効果的な表現について考え、表現効果カード作成に取り組んでいる。 (十分満足とする状況・態度) <ul style="list-style-type: none"> 様々な観点から効果的な表現について考え、文章の内容と照らし合わせながら吟味している。 (努力を要する状況)への方策 <ul style="list-style-type: none"> その表現が持つ効果について発見できない生徒には、気になる表現、個性的と思われる表現を抜き出させ、教師とのやりとりを繰り返しながら、公式にたどり着くよう援助する。 効果的な表現方法を探るための視点(構成、リズム、修辞、引用等)を示す。 	<p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇効果的な表現を発見し、それらを適切な言葉で公式にしている。 (十分満足とする状況) <ul style="list-style-type: none"> 題材の内容と関連させながら、効果的な表現を発見し、それらを適切な言葉で公式にしている。 (努力を要する状況)への方策 <ul style="list-style-type: none"> 発見した表現が題材の内容とどう関連しているかを考えるよう助言する。 公式は平易な言葉でよいことを伝える。 前時に学習したワークシート、表現効果カード例を参考にしよう助言する。 	<p>言語についての知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇文章構成や修辞法の働きについて正しく理解している。 (十分満足とする状況) <ul style="list-style-type: none"> 現代文と古典との相違や共通点を認識した上で、文章構成や修辞法について正しく理解している。 (努力を要する状況)への方策 <ul style="list-style-type: none"> 各題材の内容を理解するために、構成や難語句等についてヒントを与えたり、辞書等を活用する活動を取り入れたりする。 現代語訳だけでなく、原文と現代語訳の両方を読むよう助言する。 文章構成や修辞法が見つからない生徒に対して、便覧や辞書等を活用し、ヒントとするよう助言する。

2	<p>◎作成した公式が合理的であるかどうかを検討し、相互に評価し合う。</p>	<p>課 グ</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が探り当てた表現方法がどのような場面で使えるかを考えさせ、具体的な目的や場面を与える。 具体的な評価項目を事前に示す。 	<p>◇自己の文章に活用する、また様々な表現に活用できるという観点から公式が妥当かどうか検討しようとしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な目的や場面を想定して、公式が妥当かどうか検討しようとしている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師が示した評価項目やワークシート①②を振り返るよう助言する。 	<p>◇作成した公式の良い点、悪い点を適切な言葉でメモし、互いにアドバイスしている。</p> <p>(十分満足とする状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討の視点を明確にし、具体的な用例を考えながら、アドバイスする内容をメモしている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 気づいたこと(アドバイスする内容)が他人に伝わるかどうかを常に意識させるため、適宜話合いに教師が参加し、助言する。 	<p>◇表現方法とそれがもたらす効果について正しく理解している。</p> <p>(十分満足とする状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 便覧や辞書等の資料と他の生徒が作成した公式とを照らし合わせることによって、公式への理解を深めている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 公式にかかわる題材の内容を念頭に置きながら考えるよう助言する。
見 通 し 3	<p>◎ワークシート③を使った学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成し、検討した表現効果カードを基に、表現したり、例示された文をより効果的に伝えるよう直したりする。 <p>◎効果的になるよう表現した文、文章を検討したり、評価し合ったりする。</p>	<p>課 グ</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成した様々な公式が使えるような例題(ワークシート③)を多く提示する。 生徒の理解度に応じられるよう、例題は様々なものを用意する。 自己の表現力の高まりを実感できるよう相互評価や教師による評価を取り入れる。 	<p>◇作成した公式を基に、自己の表現に活用しようとしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現効果カードに書かれた公式を使って、より効果的な表現について推敲しながら、表現しようとしている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の思考だけにとらわれないよう、生徒同士の話合いや教師とのやりとりを通して、例題に取り組めるよう援助する。 	<p>◇作成した公式を基に、適切な言葉でより効果的に表現することができる。</p> <p>(十分満足とする状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 例題における表現の目的、場面を理解した上でより効果的に表現することができる。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 公式だけに着目せず、題材の表現意図も併せて考えるよう助言をする。 どの課題文にどの公式を使ったらよいか迷っている生徒には、使うべき公式を示す。 	<p>◇効果的な表現を施した文と例題で示した文とを比較し、効果的な表現について正しく理解している。</p> <p>(十分満足とする状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の様々な表現も念頭に置きながら、効果的な表現について正しく理解している。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 各例題が何を伝えたいのかを明確にできるように、適宜助言をする。

注：形態における全は全体 課グは課題別グループ 個は個人
：主な学習活動における◎はその時間の中心となる学習活動